

日本社会心理学会第 54 回大会案内

(第 1 号通信)

16 世紀 琉球国の尚泰久王は、一名万国津梁の鐘に「琉球は南海の勝地」と銘し、「大明を以て輔車と為し、日域を以て唇齒と為して、此の二つの中間に在りて湧出せる蓬莱島なり。」と宣言し、ちっぽけなこの島が世界への架け橋になるのだと意気軒高です。

時代は下り、20 世紀中葉の沖縄出身の詩人山之口獏は、「お国は？」と問われてあれこれ考え煩悶し、「南方」と言いますが・・・では南方とは。

「南方は南方、濃藍の海に住んでゐるあの常夏の地帯、竜舌蘭と梯梧とパパイヤなどの植物達が、白い季節を被って寄り添ふてゐるんだが、あれは日本人ではないとか日本語は通じるかなどと談し合ひながら、世間の既成概念達が寄留するあの僕の国か！」(『山之口獏全集』「会話」より)

21 世紀初頭の今日、沖縄国際大学を会場に、日本社会心理学会第 54 回大会が、2013 年 11 月 2 日(土)と 3 日(日)の 2 日間の会期で開催されます。沖縄県で初めて開催される記念すべき大会です。

思えば、日本社会心理学会と沖縄県との関わりは、今から 30 年前の沖縄国際大学での公開シンポジウム開催、および 8 年前の琉球大学での公開シンポジウム開催にあります。

沖縄国際大学は 1972 年に開学、私立の人文社会系の地方大学として沖縄の中部に位置します。沖縄国際大学を中心に地図上に 2000 キロメートルの同心円を描きますと、東京、ソウル、北京、マニラ、台北、がすっぽりと収まります。多様な文化・社会が展望できます。

沖縄の社会心理学関係者一同、精一杯相務める所存でございます。多くの会員の皆様のご参加をいただき、ブリアントなご発表、エキサイティングな討論、クールな論評で亜熱帯の気温を体感、温度差の有無を確認し、多くの成果をお持ち帰りになられますようお願いいたします。

夢の竜宮・沖縄へ是非お越しください。ゆたしく、うにげー、さびら(宜しくお願い申し上げます)。楽しい大会に！

2013 年 4 月

日本社会心理学会第 54 回大会準備委員会

委員長 大城 亘武(沖縄キリスト教大学院大学)

本通信にはこの案内とともに、WEB 申込要領、会員番号・パスワードカード、主領域リストが同封されています。

I. 会期および会場

1. 会期：2013 年(平成 25 年)11 月 2 日(土)、3 日(日)
2. 会場：沖縄県宜野湾市宜野湾 2-6-1 沖縄国際大学

II. 内 容

1. 研究発表

(1) 発表の方法

口頭発表とポスター発表があります。いずれも日本語あるいは英語による発表です。**2011 年度から原稿は 1 ページになりました。**

口頭発表：座長の司会のもとで発表していただきます。1 人の発表時間は 12 分とし、3 分間の討論時間を個々に設けます。機器は、Microsoft Office PowerPoint およびプロジェクターを用意する予定です(詳細は第 2 号通信でお知らせします)。配布資料は必要部数を当日発表会場にお持ちください。

口頭発表の希望者が多い場合には、プログラムの都合上、ポスター発表に変更していただく場合もあります。あらかじめご承知おさください。

ポスター発表：日本語あるいは英語によってポスター方式で発表し、発表者と質問者とが個別に討論していただきます。ポスター掲示時間は90分とし、所定時間までにポスターを掲示していただきます。発表者の在席責任時間は、90分のうち、前半45分もしくは後半45分を責任在席時間とします。

(2) 発表の要件

口頭発表、ポスター発表ともに、科学論文の要件を満たしている必要があります。要件を満たしていないと判断される場合、発表をお断りすることがあります。

また、「大会発表論文集への論文掲載」と、「発表と討論参加」の2条件を満たすことによって、学会大会における公式発表として認められます。

(3) 発表資格

研究発表者は、以下の条件を満たしていることが必要です。

- ① 単独発表者あるいは連名発表における責任発表者は、2013年6月17日現在、日本社会心理学会の正会員、または名誉会員であり、かつ 2013年度の会費を納入済みでなければなりません。ただし、入会希望者については、発表申し込み時点で入会申請中であることを条件とします。入会申込書を5月31日(必着)までに日本社会心理学会事務局宛にご送付ください。なお、準会員には発表資格がございません。連名発表者は、必ずしも正会員である必要はありませんが、できるだけ本学会に入会されることを希望します。

なお、単独発表者および責任発表者になるのは1人1回に限ります。連名発表者については上記の限りではありませんが、プログラム編成上、連名発表者の別発表と発表時間が重なる可能性のあることをご了承ください。

- ② 単独発表者および責任発表者は、所定の期日(IV参照)までに「発表申し込み」と「論文集原稿の投稿」を行い、また所定の期日までに「大会参加費(予約)」を納入してください。

(4) 論文集原稿作成・投稿要領

原稿作成および投稿の要領については、第2号通信でお知らせします。

2. 会員の企画・自主運営によるワークショップ

会員の皆様の企画・自主運営によるワークショップを募集します。ただし、大会運営上の理由や他のワークショップとの関係等で調整させていただくこともありますので、あらかじめご承知おきください。

3. その他

日本社会心理学会大会準備委員会の企画のもと、シンポジウムを実施する準備をしております。

4. 懇親会

大会1日目の夕方に、ザ・ナハテラス (<http://www.terrace.co.jp/naha/>) にて懇親会を予定しております。詳細は、プログラムでお知らせします。

5. 総会

総会の詳細は、プログラムでお知らせします。

Ⅲ. 発表、参加および論文集購入の申し込み要領

1. 申し込み手続き

(1) 発表希望者(単独発表者・責任発表者)

発表・参加申し込み受付はインターネット(WEB)で行います。発表を希望される方は、第1号通信に同封の「WEB申込要領」にしたがって、6月17日(月)24時までに申し込み手続きを行ってください。また、論文集原稿の投稿もWEBから行っていただきますが、手続きの詳細については第2号通信でお知らせします。連名発表者

で大会に参加される方は、(2)の手続きで予約参加申し込みを行ってください。

※基本的に、今回登録した題目・内容に基づいて、発表領域・セッションの大きな振り分けが行われます。そのため、次回原稿登録時点で題目・内容について大幅な変更があったとしても、その変更が反映されずに振り分けがなされる場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

(2) 予約参加・論文集予約購入希望者

予約参加申し込みと論文集予約購入の受付も WEB で行います。「WEB 申込要領」に従って、6月17日(月)24時まで申し込み手続きを行ってください。

(3) ワークショップ応募者

会員の皆様の企画・自主運営によるワークショップ募集に応募される方は、6月17日(月)24時まで大会ヘルプデスク(jssp-desk@bunken.co.jp)まで企画者名と企画概要を E-mail で連絡してください。企画概要は、A4用紙1枚程度にまとめてください。なお、話題提供者や指定討論者が会員でない場合、他のプログラムに参加しないときに限り、参加費を免除いたします。

2. 諸費用の払い込み

(1) 払込期日

発表希望者(単独発表者・責任発表者)、会員の企画・自主運営によるワークショップ応募者、大会参加者、懇親会参加者、および論文集購入者は、申し込み後に郵送される振替用紙を用いて諸費用をお振込みください。最終支払期限は7月29日(月)です。期限を過ぎますと、事前申し込み金額が適用されなくなることもありますので、ご了承ください。

(2) 諸費用

- ①大会参加費
- | | | |
|------------|------------------|------------|
| 正会員(一般・院生) | 6,500円(予約) | 7,000円(当日) |
| 臨時会員 | 7,000円 | |
| 準会員(学部学生) | 学部学生の臨時会員 4,000円 | |
- 非会員は臨時会員として、当日会場にてお申し込みいただきます。
- ②論文掲載料
- | | | | |
|---------|--------|---------|----|
| 正会員(一般) | 5,000円 | 正会員(院生) | 無料 |
|---------|--------|---------|----|
- (単独発表者・責任発表者)
- 学会が、論文掲載料補助金として大学院生の発表1件につき5,000円を負担いたします。ただし、発表の要件が満たされなかった場合は、論文掲載料として5,000円を徴収いたします。本補助金は若手研究者の学会発表を促進するために一大会100万円(発表件数200件)を限度として実施しているものです。補助のあり方は、毎年、学会予算や発表数の状況によって決定しています。

※2013年度の大会に限り、院生のみでなく、一般も論文掲載料補助金として、発表1件につき5,000円を学会が負担いたします。

- ③論文集購入費
- | | | |
|----|------------|------------|
| 個人 | 5,000円(予約) | 6,000円(当日) |
| 機関 | 6,000円 | |
- 単独発表者および責任発表者には論文集が1冊無料で送付されます。
なお、論文集原稿は大会会期前に学会ホームページにて公開される予定です。
- ④懇親会参加費
- | | | |
|----|---------------------|---------------------|
| 一般 | 6,000円(予約) | 6,500円(当日) |
| 学生 | 5,000円(院生・学部学生, 予約) | 5,500円(院生・学部学生, 当日) |
- ただし、予約が多数の場合、当日参加をお断りする場合があります。

IV. 今後のスケジュール

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 新入会員受付期限 | 2013年5月31日(金) 必着 |
| 2. 新入会学会費の払込期限 | 2013年6月17日(月) |
| 3. 発表・参加申し込み期限 | 2013年6月17日(月) 24時 |
| 4. ワークショップ申し込み期限 | 2013年6月17日(月) 24時 |
| 5. 大会諸費用の払込期限 | 2013年7月29日(月) |
| 6. 論文集原稿の受付期限 | 2013年7月26日(金) 24時 |

※日本社会心理学会では会費をその年度の4月末日までに収めなければならないと定められています。
新入会の方はこの限りではありませんが、遅くとも6月17日(月)までに会費をご納入下さい。

V. 大会に関する連絡先

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 (株) 国際文献社内 日本社会心理学会大会ヘルプデスク
FAX : 03-5227-8632 E-mail : jssp-desk@bunken.co.jp

VI. 学会入会、住所・所属の変更等に関する連絡先

新たに入会される場合や、住所や所属などに変更がある場合には、以下までご連絡ください。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 (株) 国際文献社内 日本社会心理学会事務局
TEL : 03-5389-6217 FAX : 03-3368-2822 E-mail : jssp-post@bunken.co.jp

※ 入会申込書は日本社会心理学会のホームページ(VII参照)から出力できます。

VII. 今後の通信予定

1. **第2号通信** : 2013年6月下旬に、発表申し込み者に対してのみ、論文集原稿作成・投稿要領等をお送りします。
2. **プログラムと大会論文集** : 2013年10月中旬に、全会員に大会プログラムをお送りします。また、単独発表者・責任発表者、および論文集購入費を払い込まれた方には論文集もお送りします。
3. **ホームページ** : 第54回大会のホームページ (<http://www.wdc-jp.biz/jssp/conf2013/>) を用意いたしました。申し込みはこちらからお願いします。大会のホームページへは、日本社会心理学会 (<http://www.socialpsychology.jp/>) のホームページからもリンクされております。

VIII. その他

1. 大会期間中は託児所を設置する予定です。詳細につきましては決定次第、第54回大会のホームページ上や第2号通信などでお知らせしますので、利用を希望される方はご確認をお願い致します。
2. 大会時の twitter 等の利用は基本的に可としますが、発表内容等を鑑み、twitter 上への掲載の自粛を要請したい場合は、発表時に口頭で伝達するか、ポスター内にその旨を明記するようにしてください。また、twitter を利用する側は、発表者からの要請を遵守するとともに、個人的な非難等、不適切な発言は控え、良識をもって対応するようお願いいたします。